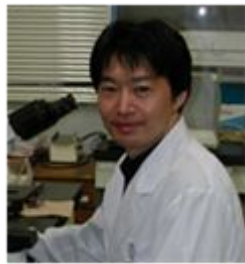
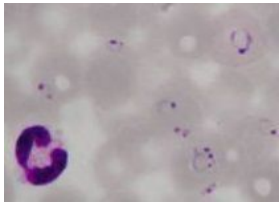
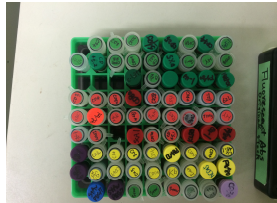


研究機関名	群馬大学				
プログラム名	何でアレルギーが！？寄生虫感染で変化した免疫体質を観察しよう				
先生(代表者)	鈴江 一友(すずえ かずとも)・大学院医学系研究科・講師				
自己紹介	大学時代の思い出は旅行です。野宿しながら自転車で日本各地を巡り、海外ではアジアのゲストハウスを転々と。色んな人が、色んな考えを持っていて、たくさんの刺激を受けました。今は寄生虫学と免疫学に足場を置いて研究しています。感染症が流行する国々は貧しく、先進国では3人に1人がアレルギーに悩んでいる。研究を通じて人々の命・生き方・笑顔に寄り添うことを目指しています。好きな本は宮沢賢治「グスコーブドリの伝記」。今でもたまに読みます。				
開催日時・募集対象	令和3年 1月 23日(土)	受講対象者	高校生	募集人数	20名
集合場所・時間	群馬大学 昭和キャンパス(医学部) 医学部基礎研究棟 4F 大学院セミナー室		(集合時間)	11:00 am	
開催会場	群馬大学 昭和キャンパス 医学部基礎研究棟 4F 実習室 住所: 〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-22 アクセスマップ URL: http://www.gunma-u.ac.jp/html/access_0.html (JR 前橋駅からバス 15 分「群大病院」バス停から徒歩 2 分)				
内 容					
「あたしすぐ風邪ひいちゃうの」「この時期は目がかゆくてたまらないんだよね」アレルギー体質の人、風邪をひきやすい人、体質って人それぞれですよね？日々同じものを食べて生活する家族ですら、体質がそれぞれなのは驚きです。 私たちは、お母さんの産道を通して産まれた瞬間から、細菌やウイルスや寄生虫など、さまざまな外来微生物に暴露し、それら感染体は「環境因子」として私たちの体質形成に影響することが分かってきました。  日本ではあまり見られなくなった寄生虫ですが、人類 50 万年の歴史をともに歩んできた寄生虫に別れを告げたのはほんの数十年前です。その後私たちの体質はどう変化したのでしょうか？先進国の約 40%もの人々を悩ますアレルギーは、免疫体質の変化がその発症要因の一つに挙げられています。  さて、寄生虫の一種であるマラリア原虫に感染すると、アトピー性皮膚炎を発症していたマウスはどうなるのでしょうか？ヒトに感染しない安全なタイプのネズミマラリア原虫をマウスに感染させ、アトピー性皮膚炎を発症したマウスの症状がどのように変化するかについて観察し、「環境因子としての寄生虫」について一緒に考えてみませんか？ 					

持 ち 物	特 記 事 項
筆記用具 (着替え)	希望者にはマウスを解剖し、マウス体内を観察していただきます。 解剖を希望する人は事前に教えてください。 服に動物のにおいが付くことがありますので、気になる人は着替えを持参してください(白衣はこちらで用意します)。 当日はたくさんの大学生が皆さんをサポートしますので、何でも気軽に質問してくださいね。
スケジュール	
11:00 受付(昭和キャンパス 基礎研究棟 4F 大学院セミナー室) 11:10～11:30 開講式(あいさつ・オリエンテーション・科研費の説明) 11:30～11:50 実習「マラリア感染でアトピー性皮膚炎の症状はどうなる？」 11:50～12:00 休憩 12:00～12:50 (昼食を食べながら) 講義「何でアレルギーになるのかな？」 12:50～13:00 休憩 13:00～14:00 実習「マラリアに感染すると体内でどんな変化が起こる？」 14:00～14:10 休憩 14:10～14:50 講義・実習「寄生虫は私たちにとって有益？有害？」 14:50～15:00 休憩 15:00～15:40 実習「いろんな寄生虫を観察しよう」 15:40～15:50 クッキータイム・ディスカッション 15:50～16:00 修了式(アンケート記入・未来博士号授与) 16:00 解散 (解散後、希望者には学内の研究施設や機器を案内します) 【オンライン講義の予定について】 新型コロナウイルスの影響で、例年より実習時期を遅らせました。 実習までに時間があるので、その間に寄生虫・免疫に関するオンライン講義を行おうと思います。 実習参加者には後ほど詳細について連絡します。こちらもぜひ楽しみにしておいてください。	

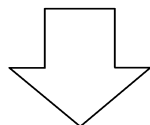
課題番号	20HT0048	分野	医歯薬学・生物	キーワード	寄生虫、アレルギー、衛生仮説、感染症、マ ラリア、原虫
------	----------	----	---------	-------	--------------------------------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	大学院医学系研究科 生体防御学 鈴江 一友（すずえ かずとも）
住 所	〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-22
T E L 番 号	027-220-8023
F A X 番 号	027-220-8025
E - m a i l	suzue@gunma-u.ac.jp
申込締切日	2020年7月31日（金）
※先着順 ※新型コロナウイルスの影響のため開始時期を遅らせました。 ※締切後もキャンセル待ちを受け付け ます。メールでお気軽にお問い合わせどうぞ。 ※プログラム開始まで時間があるため、それまでに動画で実習に 関するいろいろな情報を配信する予定です。	

《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2015年度～ 2018年度	基盤研究(C)（一 般）	15K08520	免疫学的特異性から逸脱したマラリアにおけるT細胞応 答分子メカニズム
2008年度～ 2010年度	基盤研究(C)（一 般）	20590421	感染増悪を導くマラリア免疫応答の分子的解析
2004年度～ 2005年度	若手研究(B)	16790243	マラリア防御免疫記憶の分子的解析



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000000333485>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。